

群馬県文化財保存活用大綱

令和2年3月

群馬県教育委員会

序

上毛かるたに詠まれている「しのぶ毛の国二子塚」の取り札には、埴輪馬と、その背後に緑に覆われた古墳が描かれています。かつて「毛野」と呼ばれた群馬県には多数の大型古墳が造られ、本県を代表する文化財として大切に守られてきました。その他にも、変化に富んだ地形が織りなす美しい自然と、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」や世界の記憶「上野三碑」等、多くの優れた文化財が存在し、独特の歴史文化がはぐくまれてきました。

郷土の先人たちによって守られてきたこれらの貴重な文化財は、急速に進む少子高齢化等の社会情勢の変化により、次世代への継承が危ぶまれる事態に直面しています。地域社会の衰退や所有者の高齢化、多発する災害等で失われる危険性が高まっており、それをいかに防いでいくかは全国的な課題となっております。

このような状況の中、文化財保護法が改正され、文化財を地域社会全体で守り、活用しつつ将来へつなげて行こうという理念が示されました。この改正により、都道府県が域内の文化財の保存・活用に関する基本的な方針を示す大綱を定めることが可能となったことから、「群馬県文化財保存活用大綱」を策定しました。

この大綱では、県内文化財の保存と活用に係る基本理念と方針を示しており、県や市町村、関係機関、文化財所有者の皆様、民間団体、民間企業、大学等、文化財の保存・活用に取り組む全ての方々が基盤とするものであります。今後、大綱に基づいた取組を進める中で、県民の皆様には郷土の文化財の価値や魅力を伝え、保存・活用の意義や目的を共有することで、地域社会総掛かりで文化財を将来に継承し、歴史文化にあふれた群馬県を守り伝えていくことを目指してまいります。

結びに、本大綱の作成にあたり、多大な御支援と御協力をいただきました文化庁をはじめ「群馬県文化財保存活用大綱策定委員会」の委員の皆様、関係団体の皆様、市町村教育委員会の皆様に心より感謝の意を表し、序文といたします。

令和2年3月

群馬県教育委員会
教育長 笠原 寛

群馬県文化財保存活用大綱 目次

第1章 大綱策定の目的

1 大綱策定の背景と目的	1
2 大綱策定の経過	3
(1) 組織	3
(2) 経過	3
3 大綱の位置付け	4
(1) 群馬県総合計画との関係	4
(2) 群馬県の行政体系における大綱の位置付け	4
(3) 群馬県の文化財保護行政における大綱の位置付け	4
4 大綱の計画期間	5

第2章 文化財の保存・活用に関する現状と課題

1 群馬県の概要	6
(1) 地理的・自然的な特徴	6
(2) 歴史的な特徴	7
2 群馬県内の文化財の概要	10
(1) 中毛地域	10
(2) 西毛地域	13
(3) 東毛地域	16
(4) 北毛地域	19
3 群馬県の歴史文化の特徴	21
4 群馬県内の文化財保存・活用の現状と課題	23
(1) 群馬県内の文化財の保存・活用の現状	23
(2) 群馬県内の文化財の保存・活用に関する課題	30

第3章 文化財の保存・活用の基本理念と基本方針

1 文化財の保存・活用の基本理念	33
2 文化財の保存・活用の基本方針	33
(1) 地域の文化財の把握	33
(2) 文化財の確実な保存管理	34
(3) 市町村・地域住民と連携した保存・活用	36
(4) 文化財を活用した地域づくり	36
(5) 学校教育との連携	37
(6) 文化財の保存・活用を担う人材の育成	38
(7) 活用と情報発信の強化	39

第4章 文化財の保存・活用を図るために講ずる措置

- 1 群馬県が行う文化財の保存・活用等の計画 40
 - (1) 地域の文化財の把握と適切な保存・活用の推進 40
 - (2) 文化財の保存・活用の体制強化 43
- 2 群馬県が重点的に取り組むテーマ 45
 - (1) 未指定文化財を含む文化財総体の把握 45
 - (2) 国・県指定文化財の保存・活用の推進 45
 - (3) 蚕糸業を基盤とする各種文化財の調査と保存・活用の推進 46
 - (4) 災害に備えた体制の整備 46

第5章 県内市町村への支援の方針

- 1 調査に対する支援 47
- 2 国・県の指定・登録文化財の保存・活用事業に対する支援 47
- 3 市町村の体制整備と人材育成に対する支援 48
- 4 市町村による文化財保存活用地域計画作成への支援 48
- 5 小規模市町村への支援 49
- 6 歴史的建造物の活用に関わる建築基準法の適用除外に関する支援 50

第6章 防災・災害発生時の対応

- 1 災害に備えた取組 51
- 2 災害発生時における対応 53
- 3 文化財被害への対応 54

第7章 文化財保存・活用の推進体制

- 1 県の文化財担当部局及び関係部局の職員・専門人材の配置状況 56
 - (1) 文化財保護主管課 56
 - (2) 関係部局 56
- 2 県の文化財保護審議会等、外部の専門人材の配置状況 56
- 3 県と連携協力体制にあるその他の団体 57
 - (1) 関係法人 57
 - (2) 民間団体・民間企業 57
- 4 今後の体制整備の方針 57
 - (1) 広範で緊密な連携体制の構築 57
 - (2) 専門職員の確保と育成による行政組織の体制強化 58
 - (3) 地域社会との連携強化 58

第8章 文化財の確実な継承に向けて 59

資料編

1 群馬県内の国指定・選定・記録選択文化財一覧 61

2 群馬県内の県指定・選定・記録選択文化財一覧 66

3 これまでに県が実施した主な文化財調査 74

4 群馬県の文化財保存・活用の体制 76

群馬県文化財保存活用大綱策定委員会(敬称略)

	氏名	役職等	専門・経歴等	備考
策定委員	飯島 康夫	新潟大学准教授 群馬県文化財保護審議会委員	民俗学	
	金澤 好一	元西部環境森林事務所長 群馬県文化財保護審議会委員	森林学	
	榎原 悟	群馬県立女子大学名誉教授 群馬県文化財保護審議会委員	美術史(絵画)	
	佐野 千絵	東京文化財研究所保存科学研究センター長 群馬県文化財保護審議会委員	環境科学	
	染川 香澄	ハンズ・オン・プランニング代表 群馬県文化財保護審議会委員	博物館学	
	戸所 隆	高崎経済大学名誉教授 群馬県文化財保護審議会会長	地理学(都市地理学・都市政策学・国土構造論)	委員長
	野田 香里	映画監督・作家 群馬県文化財保護審議会委員	コミュニティ文化論、地域広報論、国際人材育成論	
	右島 和夫	群馬県立歴史博物館長 群馬県文化財保護審議会委員	考古学(古墳時代)	
	宮崎 俊弥	共愛学園前橋国際大学名誉教授 群馬県文化財保護審議会委員	近現代史	
	村田 敬一	前橋工科大学客員教授 群馬県文化財保護審議会副会長	建築史	副委員長
	小宮 俊久	太田市教育委員会文化財課長	群馬県史跡整備市町村協議会 会長市	
	島田 志野	渋川市教育委員会文化財保護課長	群馬県史跡整備市町村協議会 副会長市	
	軽部 達也	藤岡市教育委員会文化財保護課長	群馬県史跡整備市町村協議会 理事市	
	田中 康夫	東吾妻町教育委員会教育課長	群馬県史跡整備市町村協議会 監事町	平成30年度
	丸橋 昇	東吾妻町教育委員会社会教育課長	群馬県史跡整備市町村協議会 監事町	
小野田 博基	板倉町教育委員会事務局長	群馬県史跡整備市町村協議会 副会長町		
オブザーバー	上原 克之	群馬県企画部世界遺産課長		
	山崎 浩通	群馬県生活文化スポーツ部文化振興課長		平成30年度
	森田 徹	群馬県生活文化スポーツ部文化振興課長		
	佐藤 武夫	群馬県産業経済部観光物産課長		平成30年度
	大久保 聡	群馬県産業経済部観光物産課長		

意見を聴取した関係団体代表者(敬称略)

関係団体等	大久保 武	特定非営利活動法人 ぐんま郷土芸能助っ人塾理事長		
	片野 光一	群馬県自然環境調査研究会副会長		
	近藤 功	富岡製糸場世界遺産伝道師協会会長		
	高梨 春雄	一般社団法人群馬建築士会事務局長		
	前澤 和之	群馬県地域文化研究協議会会長		